取扱説明書 ── M形埋め込み形照明器具・高調波ガイドライン適合品 ── 保管用

蛍光灯埋込形照明器具
(天井埋め込み専用・一般屋内用・インバータ)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。
お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。
　　　　　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終りましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品名	適合ランプ	最大送り容量	適合電線	使用電圧
DF-2801 DF-2954　連結用端部 DF-2957	FHF32W×1灯	15A	VVFケーブル ø1.6、ø2.0	AC100～242V (±6%)
DF-2802 DF-2955　連結用中間部 DF-2958				

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び傷害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⊘　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

●施工上の注意

⚠警告

❗ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

❗ 電源の送り容量は最大15Aです。必ず15A以内で使用してください。
★最大容量を超えて使用すると端子部の異常過熱による火災の原因になる場合があります。

❗ 端子台に差し込むケーブルは、必ずVVFø1.6またはø2.0の単線のケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は接触不良による火災や感電事故の原因となります。

❗ 器具の取り付け部以外の外郭(可動範囲を含む)が、天井内の造営材や空調ダクトなどの設備に触れないように施工してください。
★異常過熱による焼損事故の原因となります。

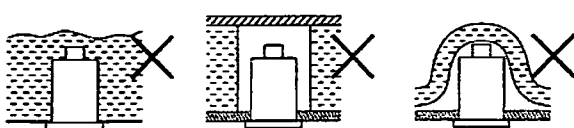
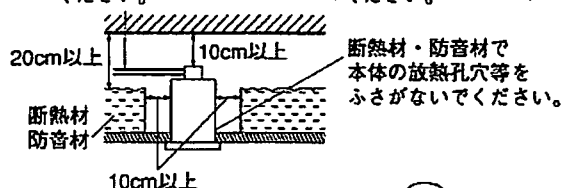
造営材等

⊘ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⊘ 天井埋め込み専用です。壁面など天井以外の場所や傾斜天井には設置できません。
★異常過熱による熱損事故の原因となります。

住宅の断熱施工天井には使用できません。
★ブローイング工法・マット敷き工法の天井に取り付けると異常過熱し、火災の原因となります。

ブローイング工法

マット敷き工法

── 住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法 ──

⊘ 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

❗ AC100～242V専用です。必ずAC100～242Vの電源で使用してください。
**★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯状態になります。また、器具の故障の原因となります。**

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⊘ 調光器(ライトコントロール)との併用はできません。
★不良点灯(チラつきや立ち消えなど)や調光器、照明器具の故障の原因となります。

使用上の注意

⚠警告

必ず指定されたランプを使用してください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。
そのまま無理に使用を続けると、器具の故障や火災の原因となることがあります。

濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。
ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⚠注意

温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

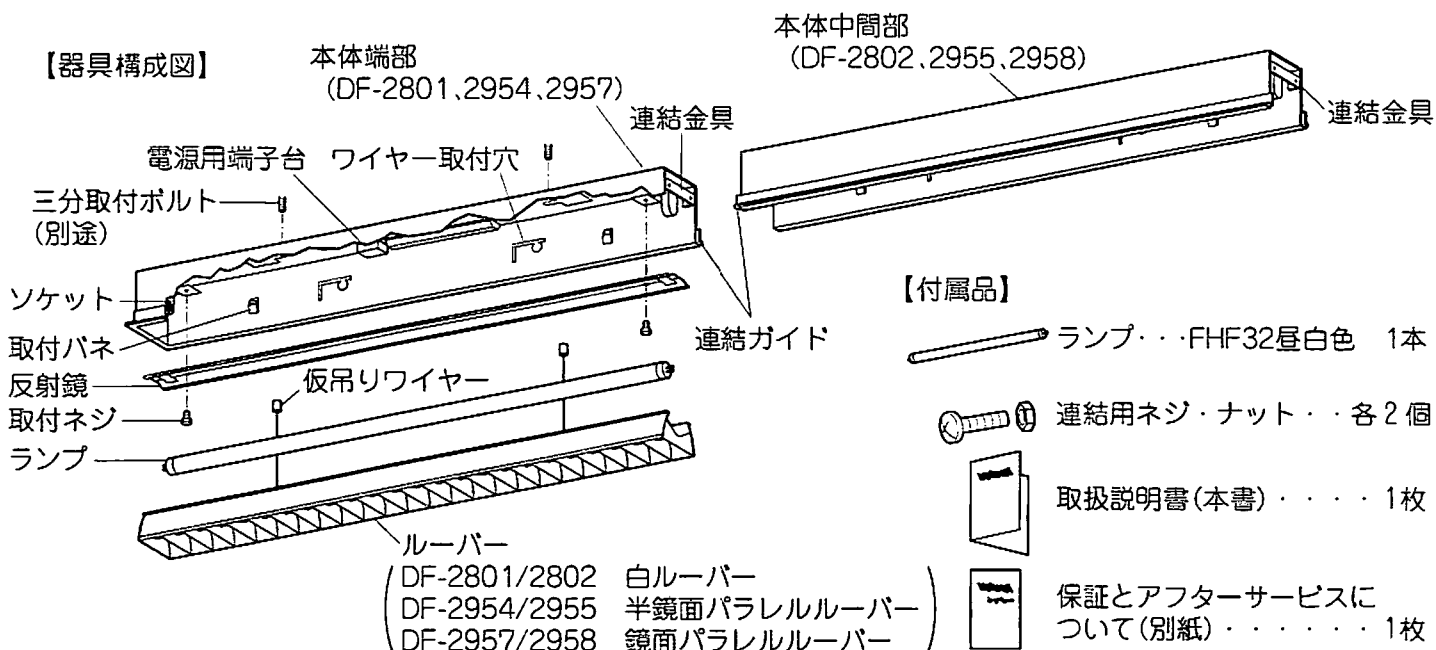
カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

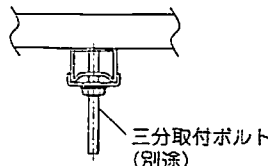
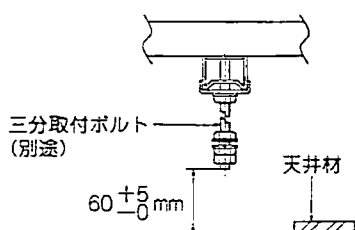
点灯中や消灯直後のランプ、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。

- ラジオなどの音響機器の近くで点灯すると雑音が入ることがあります。(雑音が入るときはランプから離してご使用してください。)
- 赤外線リモコンを採用したテレビなどの近くで点灯すると、リモコンが誤動作することがあります。

各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

取り付け場所の確認

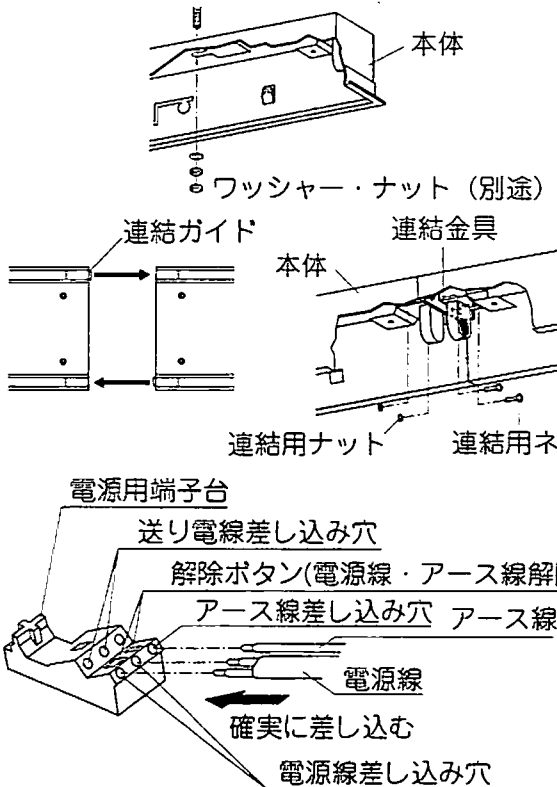
⚠警告 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

1. 天井切込孔寸法および三分取付ボルト位置を確認してください。
2. 取付ボルトはレースウェイ等を使用し、必ず垂直に降ろしてください。
   ※傾斜したボルトはボルト受金具に無理な力が加わり、器具変形の原因となります。

3. 事前に取付ボルトの長さを調節してください。
   天井面からボルトの先端まで60 $^{+5}_{-0}$ mmです。

取り付け方

⚠注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

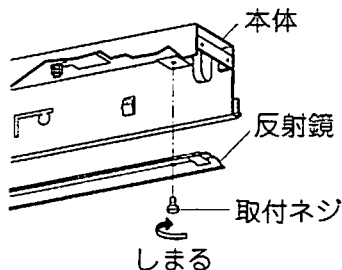
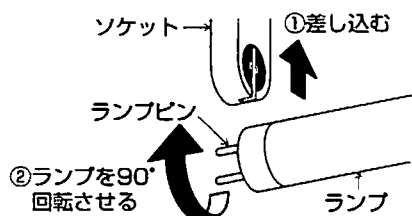
※本製品は直線連結仕様です。片側の端部から順に取り付け(仮止め)、連結を行なってください。

1．端部から順に本体を天井に取り付け仮止めします。
①電源線を本体の電源穴に通します。
②三分取付ボルトに本体を通したあと
ワッシャー・Wナットで仮止めします。

2．本体を連結します。
①仮止めした本体同士の水平レベルを合わせます。
②連結する本体同士の連結ガイドを合わせ連結金具を
連結用ネジとナットで固定します。
③連結の調整が終わった後、水平を保ちながらナット
を締め上げて固定します。

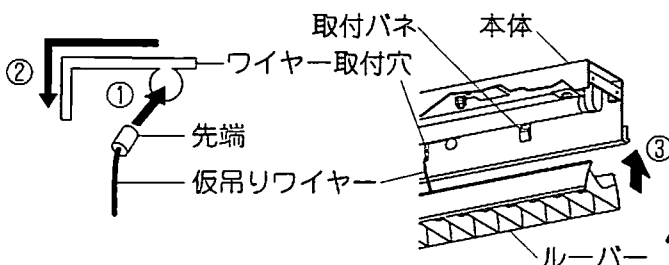
⚠ 注意 ナットは必要移以上に締めつけないでください。
★本体が変形し、ルーバーが取り付かなくなります。

3．電源線を接続します。
①電源線を電源用端子台のゲージ(12mm)に合わせて
芯線を剥ます。
②電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
※電源線をはずす場合は、幅6mmのマイナス
ドライバーの先で解除ボタンを真っ直ぐ押すと
はずれます。
③アース線を差し込み穴に差し込みます。

⚠ 警告 この器具にはD種（第3種）接地工事を行ってください。
★アースが不完全な場合は火災や放電事故の原因となります。

端子台に差し込むケーブルは、必ずVVFø1.6またはø2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

4．反射鏡をセットします。
本体に反射鏡をセットし、取付ネジで固定します。

5．ランプをセットします。
①ランプのピンをソケットの溝に
沿って奥まで確実に挿入します。
②ランプを90°回転させます。

⚠ 注意 ランプは乱暴に取り扱わないでください。
★ランプが割れて「けが」をする恐れがあります。

取付バネ　本体　ワイヤー取付穴　先端　仮吊りワイヤー　ルーバー

6．ルーバーをセットします。
①ルーバーの仮吊りワイヤーの先端をワイヤー取付穴
の丸穴に通します。
②ワイヤー取付穴に沿って下まで移動させます(2ヶ所)。
③本体の取付バネに合わせルーバーをセットします。

⚠ 注意 ランプは乱暴に取り扱わないでください。
★ランプが割れて「けが」をする恐れがあります。

⚠ 注意 ルーバーを確実に取り付けてください。
★ルーバーの落下の原因になります。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて　⚠注意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

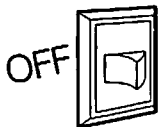
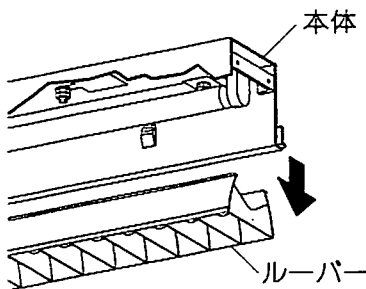
●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

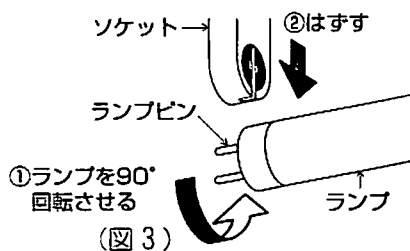
⚠注意

●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、または
ハンカチやタオル等を使って交換してください。　**★火傷の原因となります。**
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

●ランプは乱暴に扱わないでください。　**★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると不点灯や点灯不良(チラつきや立ち消えなど)の原因となります。また、安定器の異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

1．スイッチを切ります。

2．ルーバーをはずします。
本体からルーバーを引き出します。

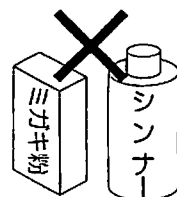
ソケット
②はずす
ランプピン
①ランプを90°回転させる
ランプ
(図３)

3．ランプをはずします。
①ランプを90°回転します。(図３)
②ソケットの溝に沿ってピンをぬきます。(図３)

⚠注意　ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。

4．新しいランプをセットします。
『●取り付け方』の「4．ランプをセットします。」の項をご参照ください。

5．ルーバーをセットします。
『●取り付け方』の「5．ルーバーをセットします。」の項をご参照ください。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の品名**(器具本体のラベルでご確認ください)、**故障の状況**、**ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。